

阿蘇

広報あそ

September

9

2025 No.248

人がつながり 創りだす 新しい阿蘇
~ ONLY ONE の世界へ ~

Photo : 御田祭

阿蘇のチカラ、ここから



阿蘇の未来を 照らす笑顔

イベントの一角で、制服姿の高校生が笑顔を交わす光景。阿蘇中央高校の生徒たちは、日々の小さな活動を通して、地域に温かな灯りをともしています。その姿は、私たち大人にとって大きな希望です。

「（ちらで靴を脱いでくださいね！）」「気をつけね！」
会場の入り口から、明るく響く声。あるイベント会場での光景。制服姿の高校生たちが、ふわふわ遊具の前で子どもたちを出迎えています。
その姿は、まるで優しいお姉さん。まだ慣れない子が不安そうに立ち止まれば、そっと目線を合わせて微笑む。ほんの一言が、子どもの表情をふわっと変えています。
笑顔が伝染する。その様子を見ている大人たちの頬まで、自然と緩んでしまうのです。

【会場がまるごと変わる、高校生のちから】

「高校生がいるだけで、空気がまるで違うんですよ」。
そう語るのは、会場を見た。

【高校生がいるだけ、空気がまるで違うんですよ】。

「最初は本当に緊張しました。

ふわふわ遊具の受付を終えた森島さんに声をかけると、少しだけ肩の力が抜けたような表情で、こう話してくれました。

【緊張から自信へ】

1年半の成長物語

守っていた市観光課の奏課長です。「子どもたちが制服のお姉さんに話しかける様子がとても微笑ましくて。お客様、特に親御さんがリラックスして過ごしているのが伝わってきます」。若い力には、不思議な魅力があります。計算やマニュアルには載らないけれど、確実に場を温かくする力。空気がほぐれ、人の心の距離もふわりと近くなる。

そんな雰囲気を生み出していたひとりが、阿蘇中央高校総合ビジネス科3年生の森島優美さんです。

高校1年生の夏。初めてボランティア活動に参加したときのことを振り返る言葉です。

それからの1年半、彼女は学童保育や観光イベント、高齢者向けのスマホ教室など、10回以上にわたり地域の活動に関わってきました。

「いろいろな経験をさせてもらいました」。

その一言のなかに、出会った人たちの顔や、積み重ねた時間がにじんでいます。時には混雑した会場で、次々にやってくる来場者への対応に追われることもあったといいます。そうした経験のひとつひとつが、今の彼女の動きをつくっています。

「いつも笑顔で接することを心がけています」。

森島さんが自然に口にしたその言葉は、彼女の姿勢そのものを表しています。

大きな声で呼びかけ、子ども



